



# 文武両輪

ぶん 武 ぶ りょう 輪 りん  
～勉強も行事も部活動も～

令和5年 9月22日

【文言】校長 蔦川 誠

## 市中体秋季大会を終えて

選手の皆さんは試合や競技への参加、応援生の皆さんは心のこもった応援、お疲れさまでした。今大会では、男子剣道部の団体優勝、女子陸上部の総合優勝、その他にも個人での優勝がいくつもあって、夏季大会に引き続いて素晴らしい成績を収めました。1、2年生は、先輩からのバトンをしっかり引き継ぐことができたと思います。そして新たな長者中の伝統を創り上げてくれました。

各部の部長の「振り返り」を紹介します。

(一部抜粋・修正は筆者)

陸上競技部 部長 柳町 虹胡

陸上競技部は「全員入賞し、総合優勝」の目標のもと戦ってきました。全員入賞には届きませんでしたが、男子3位、女子総合優勝を勝ち取りました。皆が全力で戦うことができましたが、仲間を信じて戦う楽しさとともに自分自身を信じて戦う難しさも感じました。応援ありがとうございました。

野球部 部長 三浦 優毅

今回はクラブチーム所属の2人に力を貸してもらいました。結果は準決勝で根城中に1-2で負けて第3位でした。助っ人の2人にはたくさん助けてもらうなど、今大会は仲間の大切さを学びました。3日間応援してくれた吹奏楽部と応援生の皆さん、全力の応援ありがとうございました。

サッカー部 部長 榎林 慶一

結果は初戦敗退でした。今大会では「戦う気持ち」が大切ということ学びました。僕たちがいつものプレーができずに、「戦う気持ち」も相手が明らかに上でした。初戦敗退という悔しい結果でしたが、悔しさを糧にして次こそはよい結果を出せるよう努力します。応援ありがとうございました。

剣道部 部長 富田 清悟

団体戦では、男子が決勝の二中戦で3-0で勝って優勝、女子は決勝の五戸中戦で2-3で負けて準優勝でした。個人戦でも、男子はベスト8が2名、女子は3位が2名、県大会出場を果たしました。八戸で県大会なので、地元校として恥ずかしくない結果を出します。応援ありがとうございました。

男子バスケットボール部 部長 畑中 裕希

目標は初戦突破でした。初戦の二中戦では次第にリードを広げられましたが、総合文化部や保護者の皆さんの応援に勇気づけられ、最後まで全力でプレーできました。48-74で負けてしまいましたが、今回学んだ経験を今後に活かしていけるよう頑張ります。応援ありがとうございました。

女子バスケットボール部 部長 中川原 好夏

目標はベスト4でしたが、1回戦の北稜中戦は49-65で負けてしまいました。試合全体を通して思うようなプレーができずに終わってしまったのが悔しいです。悔しさをバネに日々の練習を大切にして頑張っていきます。皆さんの応援がとても大きな力になりました。ありがとうございました。

バレーボール部 部長 工藤 澪桜

初戦の白銀南中戦では、相手の強いスパイクやサーブに押され負けてしまいました。2試合目の五戸・川内合同戦では、最後まで粘りましたが負けてしまいました。2試合目は私たちの武器であるサーブで点を取ることができたよい試合でした。次に向けて課題の克服に努め、練習に励んでいきます。

卓球部 部長 田中 煌心

女子団体4位、女子個人戦で5位入賞1名という結果でした。目標は達成できませんでしたが、全員が精一杯戦いました。男子団体はオープン参加でしたが、団体戦参加という貴重な経験をしました。この経験と悔しさを今後に生かし、卓球部全体が成長していきます。応援ありがとうございました。

吹奏楽部 部長 前田 七生

女子バスケット部と野球部の応援に行ってきました。吹奏楽部全員でも16人と少ない人数でしたが、一人一人が全力で心をこめて応援しました。3日目の全校応援では、吹奏楽部が大勢の応援生をリードして野球部に全力の応援を届けることができました。選手の皆さん、秋季大会お疲れさまでした。

総合文化部 部長 大南 果乃音

秋季大会の応援で学んだことは、一人一人が同じ思いを応援に乗せることでまとまった応援ができるようになるということです。全校応援では選手の力となる力強い応援だったので、私自身も鼓舞されました。夏季大会では総合文化部が中心となって選手を鼓舞する応援にします。お疲れさまでした。

